

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	腹腔鏡下胃全摘出術と開腹胃全摘術の術後短期の体組成変化の比較
	研究目的	腹腔鏡下胃全摘術と開腹胃全摘術の術後の体組成変化を比較し，術式の体組成変化への対する影響を検討する。対象は，2011年5月から2016年9月までに胃腺癌と診断され，根治胃切除術によりR0切除を達成し，術前・術後7日・術後30日・術後90日に体組成を計測できた症例を対象とした。
	研究期間	西暦 2018年7月13日～西暦 2020年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	大島貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	胃食道外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学 外科治療学 助教 青山徹(がんセンター研究生)